令和７年度

公益社団法人　日本補綴歯科学会

第４回　専門医研修会

テーマ：欠損補綴難症例におけるアプローチ
ピエゾグラフィー，フレンジテクニックを中心に

抄録集

日　時：2026 年３月８日（日）10：00 ～ 12：00

会　場：WEB 開催（Zoom Webinar）

主催　公益社団法人　日本補綴歯科学会
理事長　大久保力廣
学会事務局：
〒 105-0014　東京都港区芝 2-29-11　高浦ビル４階
TEL：03-6722-6090
運営事務局：マーケティングインテリジェントオフィス
〒 810-0001　福岡市中央区天神 4-6-28 天神ファーストビル７階

令和７年度
公益社団法人 日本補綴歯科学会
第４回専門医研修会

抄録集

目　　次

1.　専門医研修会参加の皆様へ ―――――――――――――――――――――――― 1

2.　専門医研修会タイムテーブル ―――――――――――――――――――――― 5

3.　専門医研修会抄録 ―――――――――――――――――――――――――― 7

1．専門医研修会参加の皆様へ

開催概要

開催方式：WEB 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

日　　時：ライブ　　2026 年 3 月 8 日（日）10:00 ～ 12:00

　　オンデマンド　　2026 年 3 月 10 日（火）～ 3 月 20 日（金）

（オンデマンドでの視聴は，単位は付与されません．）

単位について

4 単位（本年度中の専門医研修会への参加回数の制限はありませんが，**年度内 8 単位を取得上限とします．**）

【単位付与条件】

ライブ配信視聴の場合のみ単位付与します．

ライブ配信開始 5 分後以降の入室，終了予定時刻 10 分前以前の退室には単位を付与しません．

アクセスログで単位登録いたしますので，視聴中の通信環境にご留意ください．

いかなる理由があろうとも，途中退出が認められる場合，単位付与はされません．

後日のオンデマンド配信視聴は，参加費をお支払いいただけば何度でも可能ですが，単位は付与されません．

【日歯生涯研修単位】

日本歯科医師会会員の方は，上記と同じ条件で研修単位を付与しますので，申し込みページに**日歯 IC カード番号（6 桁）**を記入して下さい．お間違いの番号を記載の方が非常に多いですので，再度ご確認をよろしくお願いいたします．

【アンケート】

単位取得に必須ではありませんが，ライブ配信終了後，Zoom のチャット機能にて運営よりフォームの URL をご案内しますので，ご協力をよろしくお願いいたします．

参加登録

申し込みは，２段階となっております．管理の都合上，お手数をおかけしますが，ご協力のほどよろしくお願いいたします．

参加費（3,000 円）のお支払い方法は，1）クレジットカード決済または 2）銀行振込の２通りとなります．

※登録されるメールアドレスについて

キャリアメール（docomo.ne.jp，ezweb.ne.jp，softbank.ne.jp 等）をお使いの場合，自動返信メールが届かない可能性がありますので，極力キャリアメール以外でのご登録をお願いいたします．

【研修会参加申込フォームはこちら】

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/6975c91468ada6269f4ac52a

（業務委託先の Payvent システム（株式会社 Urbs 運営）に移動します）

＜ご案内＞

令和７年度は国内企業および他学会の運用実績をもとにセキュリティ対策を講じたシステムを採用いたしました．

プライバシーポリシー

https://payvent.net/privacy-policy/

1．研修会参加申込フォームにて，必要事項をご入力いただき，お支払方法を選択の上，決済画面へお進みください．

2．参加登録・参加費のお支払いが完了すると，ご登録いただいたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます．

3．銀行振込の方は，登録されたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます．そちらのメールに，お振込み口座が記載されていますので，**３月５日（木）正午までにお振込みください．**

お振込先は，本参加登録システム Payvent が利用している決済代行会社が指定する銀行口座（stripe（ストライプ））へのお振込みとなります．

申し込み後のキャンセル・返金は基本的に受け付けておりません．よくご確認の上お申し込みください．重複のお支払いのないようご注意ください．

※ご登録のアドレス宛に Zoom の URL をご連絡いたしますので，自動返信メールの受信を必ずご確認ください．

4．視聴登録用 URL を入力されたメールアドレス宛に３月６日(金)に順次お送りいたします．視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き，３月７日（土）までに登録時と同じお名前とメールアドレス，補綴歯科学会会員番号をご入力ください．登録後，no-reply@zoom.us から参加用のメールが届きます．

※３月６日（金）中にメールが届かない場合は，運営事務局（info@hotetsu-specialty.com）へお名前フルネームと会員番号を記載の上メールにて３月７日（土）18 時までにご連絡をお願いいたします．申し込み状況を確認させていただきます．

３月８日（日）以降にメールが届いていない旨ご連絡いただいた場合は返金対応いたしかねます（オンデマンド視聴 URL はお送りしますが，単位は認定されません）．BCC メールが届かない方が一定数いらっしゃいますので，ご確認をお願い致します．

※研修会当日には，電話対応致しておりません．研修会当日は，メールに関してもすぐに返信することは難しいことをご了承ください．

参加・視聴方法

上記の２段階目の登録終了後に no-reply@zoom.us から届きましたメールからご参加ください．メール下段の「ウエビナーに参加」を押すか，URL をクリックしてください．

当日は 20 分前より入室可能予定です．

参加する皆様へ

１．使用ツールおよび登録のお願い

本専門医研修会は Zoom 会議システム（ウェビナー）を利用します．専門医研修会開催までに各自にて事前にお持ちの PC，タブレット，または携帯端末等へ Zoom アプリのインストールおよび事前登録の氏名とメールアドレスの入力をお願いいたします．

※アプリからご視聴の際は３月６日（金）に配信されるメール記載の ID，パスコードをご入力願います．

２．オンデマンド配信について

１．**視聴用 URL は，運営事務局より３月 10 日（火）**に参加登録者に**一斉に E メールにて送信** されます．

２．なお，フリーメールや携帯キャリアのメールは迷惑メールフォルダへサーバーが自動振り分けする場合がありますので，**受信トレイ以外もご確認**いただきますようお願いいたします．

事務局・お問い合わせ

１　単位・参加証・領収書について

公益社団法人日本補綴歯科学会事務局

〒 105-0014

東京都港区芝 2-29-11　高浦ビル 4 階

TEL：03-6722-6090

hotetsu-gakkai01@hotetsu.org

２　研修会・参加登録について

Marketing Intelligent Office

〒 810-0001 福岡市中央区天神 4-6-28　天神ファーストビル 7 階

担当：山本

TEL：080-2606-3612

（お問い合わせは内容確認のため，**お名前フルネームと会員番号を記載の上メールにて**お願い致します）

E-mail：info@hotetsu-specialty.com

※自動返信メールが届かないというお問い合わせが増えております．お問い合わせ前に必ず「迷惑メールフォルダ」の中もご確認ください．

２．専門医研修会タイムテーブル

10:00-10:50

【講演１】ピエゾグラフィーを臨床に生かす

座長：鱒見　進一（九州支部）

吉岡　　文（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：新保　秀仁（鶴見大）

10:50-11:40

【講演２】デンチャースペースを考慮したフレンジテクニックの臨床的意義

座長：鱒見　進一（九州支部）

吉岡　文（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：槙原　絵理（九歯大）

11:40-12:00

【質疑応答】

３．専門医研修会抄録

専門医研修会　座長抄録

座　長
鱒見　進一（九州支部）
九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野
吉岡　文（修練医・認定医・専門医制度委員会）
愛知学院大学歯学部有床義歯学講座

Chairpersons
Shin-ichi MASUMI
Division of Occlusion & Maxillofacial Reconstruction, Department of Oral Function, Kyushu Dental University
Fumi YOSHIOKA
Department of Removable Prosthodontics, School of Dentistry, Aichi Gakuin University

欠損補綴難症例における補綴歯科治療の成功のポイントとして義歯の維持安定が必要であることはいうまでもないが，特に高度顎堤吸収症例においては顎堤の形態を記録する解剖学的印象，通法の咬合採得のみでは安定が得られにくいことも多い．このような難症例においては，可及的に側方圧を義歯の維持圧に利用するために，デンチャースペースの動態を記録し，これに調和した義歯を製作することが必要である．これまで，その有効性についてさまざまな文献が発表されてきた．しかし，その手法については，‘動的な形態を採得する’という困難さから，イメージをつかみにくい先生も多いのではないかと拝察する．

そこで本研修会においては，それぞれのエキスパートの先生にご登壇いただき，概念から手法までご講演いただく．

新保先生には，ピエゾグラフィーの概念，臨床術式について詳しくご解説いただく．

またフレンジテクニックについては 2024 年 6 月から保険算定可能となっており，槙原先生にはフレンジテクニックの術式だけでなく，算定のポイントもあわせてご解説いただく．

本研修会が，総義歯難症例に立ち向かう補綴専門医，専門医を目指す先生方の一助となれば幸いです．

トピックス
●総義歯難症例
●ピエゾグラフィー
●フレンジテクニック

鱒見　進一先生

九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野

略　歴

1981 年　九州歯科大学卒業
1985 年　九州歯科大学大学院歯学研究科修了　助手
1992 年　文部省在外研究員：UCLA Dental Research Institute
2003 年　九州歯科大学　教授
2008 年　九州歯科大学附属病院　病院長
2010 年　九州歯科大学　大学院研究科長
2012 年　公立大学法人九州歯科大学　副学長
2013 年　公立大学法人九州歯科大学　附属図書館長併任
2022 年　九州歯科大学定年退職　九州歯科大学名誉教授

資　格

一般社団法人　日本歯科専門医機構　補綴歯科専門医
一般社団法人　日本顎関節学会　終身指導医
一般社団法人　日本顎顔面補綴学会　終身指導医
特定非営利活動法人　日本睡眠歯科学会　終身指導医

吉岡　文先生

愛知学院大学歯学部有床義歯学講座

略　歴

2000 年　東北大学歯学部卒業
2004 年　東京医科歯科大学医歯学総合研究科修了
2005-2006 年
　　米国イリノイ州立大学シカゴ校　顎顔面補綴フェロー
2010 年　愛知学院大学歯学部有床義歯学講座　講師
2025 年　愛知学院大学歯学部有床義歯学講座　准教授

資　格

一般社団法人　日本歯科専門医機構　補綴歯科専門医
公益社団法人　日本補綴歯科学会　専門医・指導医
一般社団法人　日本顎顔面補綴学会　認定医

専門医研修会　講演１抄録

ピエゾグラフィーを臨床に生かす

演　者

新保　秀仁（西関東支部）
鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座

The clinical use of Piezography

Hidemasa SHIMPO
Department of Oral rehabilitation and Prosthodontics, Tsurumi University

有床義歯治療において，義歯の安定性には口腔周囲筋が大きく関与している．特に下顎に関しては口腔内で最大の可動域を有する舌と密接な関係にあるため，その影響は一層大きいものとなる．口腔周囲筋の圧が中立になる補綴学的空間をデンチャースペースやニュートラルゾーンと呼んでいる．義歯の研磨面形態や人工歯排列位置をデンチャースペースに合致させることにより，筋活動を阻害しない義歯形態を具現化できるだけでなく，筋圧維持による安定も獲得することができる．

デンチャースペースという考え方は 1960 年代に報告され，その記録方法として口腔筋活動を利用したニュートラルゾーンテクニックやフレンジテクニックが広く認知され，現在でも臨床応用されている．一方，同年代にフランスの Klein によって，義歯の安定に影響を与える舌の水平力は，いくつかの発音時によって最も大きくなることが報告され，そして，1974 年に発音を利用した採得方法としてピエゾグラフィーが発表された．発音は日常生活のなかで無意識に行っている舌運動であり，デンチャースペースの採得に利用することは，再現性が高く，臨床応用しやすい方法ではないかと考えている．

本講演ではピエゾグラフィーの概念および臨床・技工術式だけでなく，正確なデンチャースペース（ピエゾグラフィックスペース）を採得するための重要なポイントについて解説する．

トピックス
●デンチャースペース
●発音
●ピエゾグラフィー

新保　秀仁先生

鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座

略　歴
2003 年　鶴見大学歯学部歯学科卒業
2003 年　鶴見大学大学院歯学研究科入学
2004 年　ウルグアイ大学（客員研究員）
2007 年　鶴見大学大学院歯学研究科修了
2007 年　テキサス A&M ヘルスサイエンスセンター　ベイラー歯科大学(客員研究員)
2008 年　鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座　学部助手
2012 年　鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座　助教
2016 年　南カリフォルニア大学（客員研究員）
2025 年　鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座　講師（講座名変更）

資　格
一般社団法人　日本歯科専門医機構　補綴歯科専門医
公益社団法人　日本補綴歯科学会　専門医・指導医
一般社団法人　日本デジタル歯科学会　専門医
公益財団法人　日本スポーツ協会　公認スポーツデンティスト

専門医研修会　講演２抄録

デンチャースペースを考慮したフレンジテクニックの臨床的意義

演　者
槙原　絵理（九州支部）
九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野

Clinical significance of the flange technique considering denture space

Eri MAKIHARA
Division of Occlusion & Maxillofacial Reconstruction, Department of Oral Function, Kyushu Dental University

近年，平均寿命の延伸に伴い無歯顎期間が長期化し，顎堤の高度吸収を伴う難症例が増加している．特に下顎総義歯は，義歯床面積が小さく，周囲を可動性軟組織に囲まれているという解剖学的特徴から維持・安定の獲得が困難であり，臨床上の大きな課題である．義歯を安定させるためには，機能運動時に義歯に加わる側方圧をいかに制御し，維持力として活用するかが鍵となる．

その有効な手段として，デンチャースペースの記録が挙げられる．デンチャースペースとは，義歯を装着しても機能障害を生じない，あるいは障害を感じにくい口腔内の空隙であり，顎堤粘膜を基底とし，口唇・頰・舌に囲まれた筋圧中立帯として解釈できる．この空間を適切に記録し，義歯形態に反映させることで，舌圧や唇・頰圧による脱離傾向を最小限に抑えることが可能となる．

デンチャースペースの記録法には，ニュートラルゾーンテクニック，ピエゾグラフィー，フレンジテクニックなどが存在する．本講演では，臨床応用性の高いフレンジテクニックに焦点を当て，その理論と術式を解説する．フレンジテクニックは，義歯床研磨面や人工歯の唇･頰･舌面を周囲組織の動態と調和した位置・形態に形成し，機能圧を維持圧として利用することを目的とする術式であるが，術式の要点として，適切なリップサポートの確保，咬合高径保持装置の使用，ソフトプレートワックスを用いた機能運動下でのデンチャースペース採得，さらに機能的歯肉形成の重要性について述べる．

本講演が，日常臨床の一助となれば幸いである．

トピックス
●デンチャースペース記録
●フレンジテクニック
●機能的歯肉形成

槙原　絵理先生

九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野

略　歴
2003 年　九州歯科大学歯学部歯学科卒業
2003 年　九州歯科大学大学院歯学研究科入学
2006 年　九州歯科大学大学院歯学研究科修了（早期修了）
2006 年　九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野　助手
2007 年　九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野　助教
2010-2011 年　南カリフォルニア大学歯学部留学（訪問研究員）
2015 年　九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野　講師
2021 年　九州歯科大学附属病院　病院准教授

資　格
一般社団法人　日本歯科専門医機構　補綴歯科専門医
公益社団法人　日本補綴歯科学会　専門医・指導医
一般社団法人　日本顎関節学会　専門医・指導医
一般社団法人　日本顎顔面補綴学会　認定医
特定非営利活動法人　日本睡眠歯科学会　認定医・指導医

本誌を複写される方に

本誌に掲載された著作物を複写したい方は，(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は，図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい.
著作物の引用・転載・翻訳のような複写以外の許諾は，直接本会へご連絡下さい.
〒 107-0052　東京都港区赤坂 9-6-41　乃木坂ビル
一般社団法人　学術著作権協会
FAX：03-3475-5619　　E-mail：info@jaacc.jp
ただし，アメリカ合衆国における複写については，次に連絡して下さい.
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
Phone：978-750-8400　Fax：978-646-8600

日補綴会誌への投稿方法

投稿希望の方は，下記の URL をご参照のうえ，
ご不明な点は学会事務局（電話：03-6722-6090）までお問合せください.
http://www.hotetsu.com/t1.html

日本補綴歯科学会　令和 7 年度第 4 回専門医研修会抄録集

令和 8 年 3 月 8 日発行
発 行 者　大久保　力廣
編　　集　公益社団法人　日本補綴歯科学会
学会ホームページ /http://www.hotetsu.com/
〒 105-0014　東京都港区芝 2 丁目 29 番 11 号
高浦ビル 4 階
公益社団法人　日本補綴歯科学会
電　　話　03 (6722) 6090